

令和 8 年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

生涯教育科学コース

入学試験問題 外国語科目 (英語)

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 2 枚(表紙を除く)、解答紙は 1 枚。
- 3 辞書(1冊)持ち込み可とする。(電子辞書等は不可)

次の文章は Jean-Jacques Rousseau, *Emile or On Education* (translated by Allan Bloom, Basic Books, 1979, pp.91-92) から抜粋（一部改変）したものです。文章をすべて日本語に訳しなさい。



令和 8 年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

生涯教育科学コース

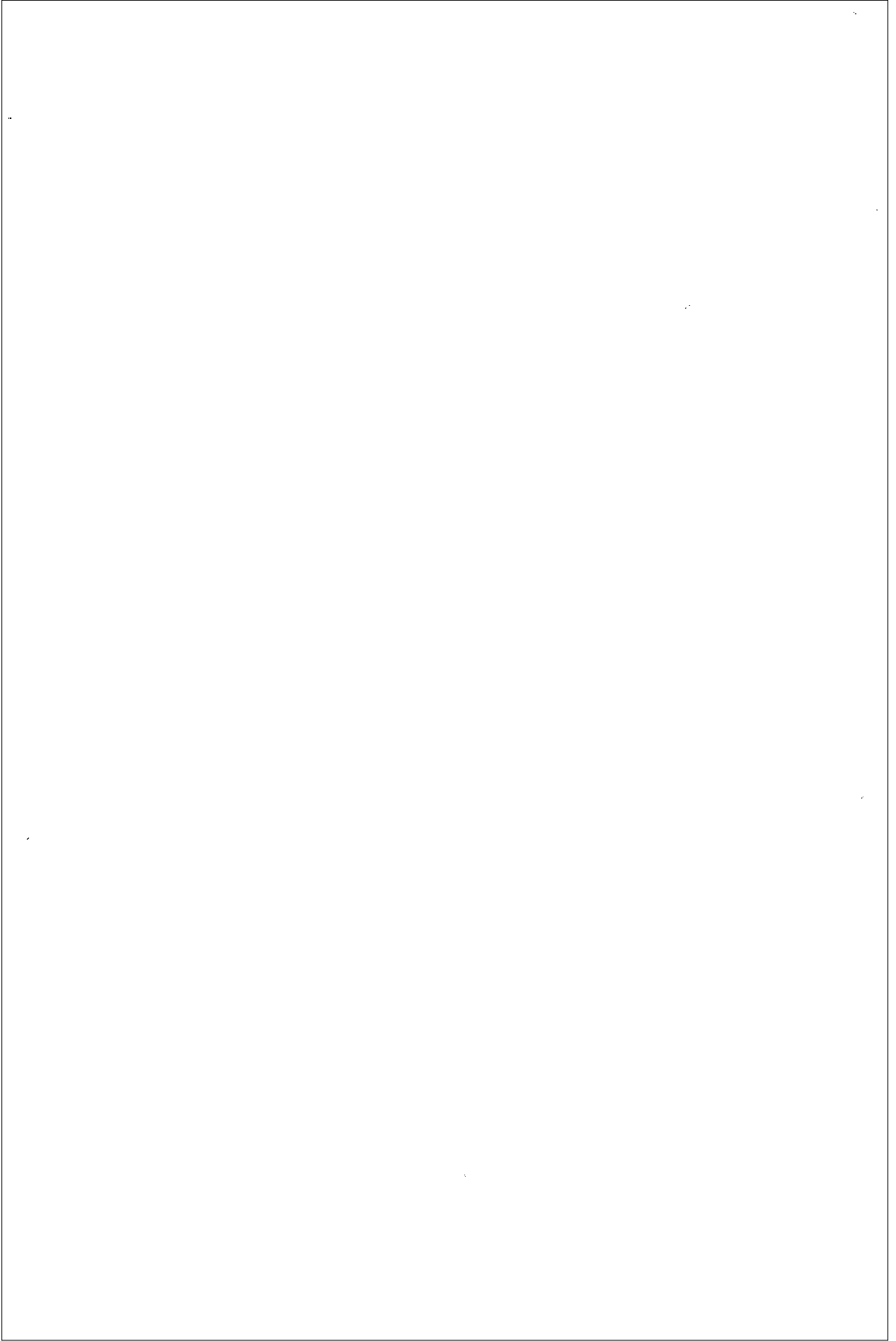
入学試験問題 外国語科目 (日本語)

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 3 枚(表紙を除く)、解答紙は 2 枚。
- 3 解答は問い番号を明記し、解答紙に記入すること。
- 4 辞書(1冊)持ち込み可とする。(電子辞書等は不可)

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。  
文献梶谷真司『問うとはどういうことか-人間的に生きるための思考のレッスン』  
大和書房、2023年、27～32頁



### 問1

本文において筆者は、「問う」という行為をどのようなものとして捉えているか。とくに、「好奇心」との関係および「違和感」との関係という二つの観点に着目し、筆者の主張の要点を整理したうえで、400字以内で要約しなさい。

### 問2

本文において筆者は、世界や他者とのあいだに生じる「違和感」から問いが生まれ、その問いをもつことによって人は「自分の人生を生きることができる」と述べている。この考え方を踏まえ、「問うこと」は人が生きるうえでどのような意味をもつと考えられるか。本文の議論を適切に参照しつつ、あなた自身の考えを日本語で論理的に述べなさい。  
(字数の目安：400～600字)

令和 8 年度（2026 年度）（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（後期 3 年の課程・一般選抜）

グローバル共生教育論コース

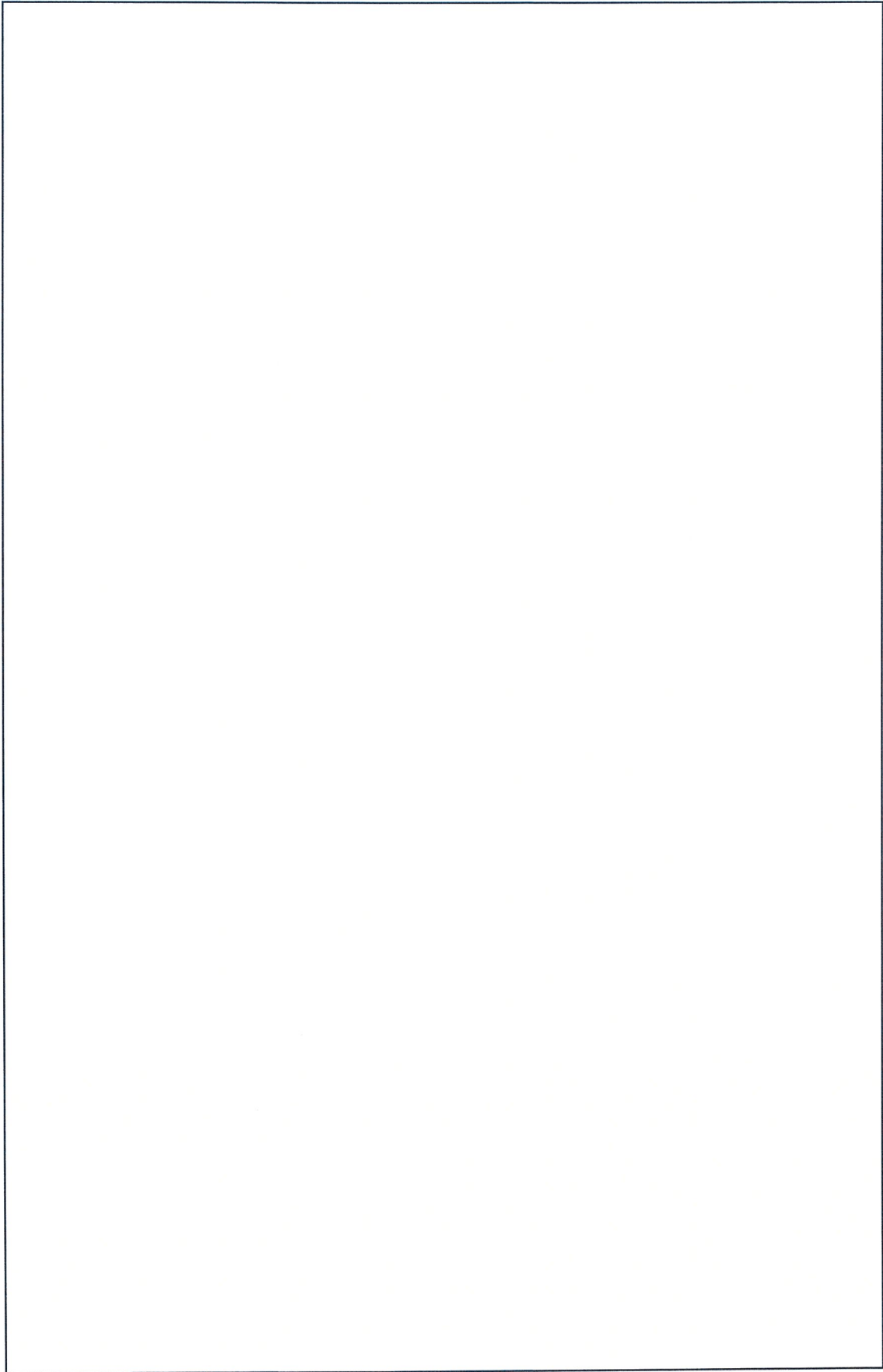
入学試験問題 外国語科目（英語）

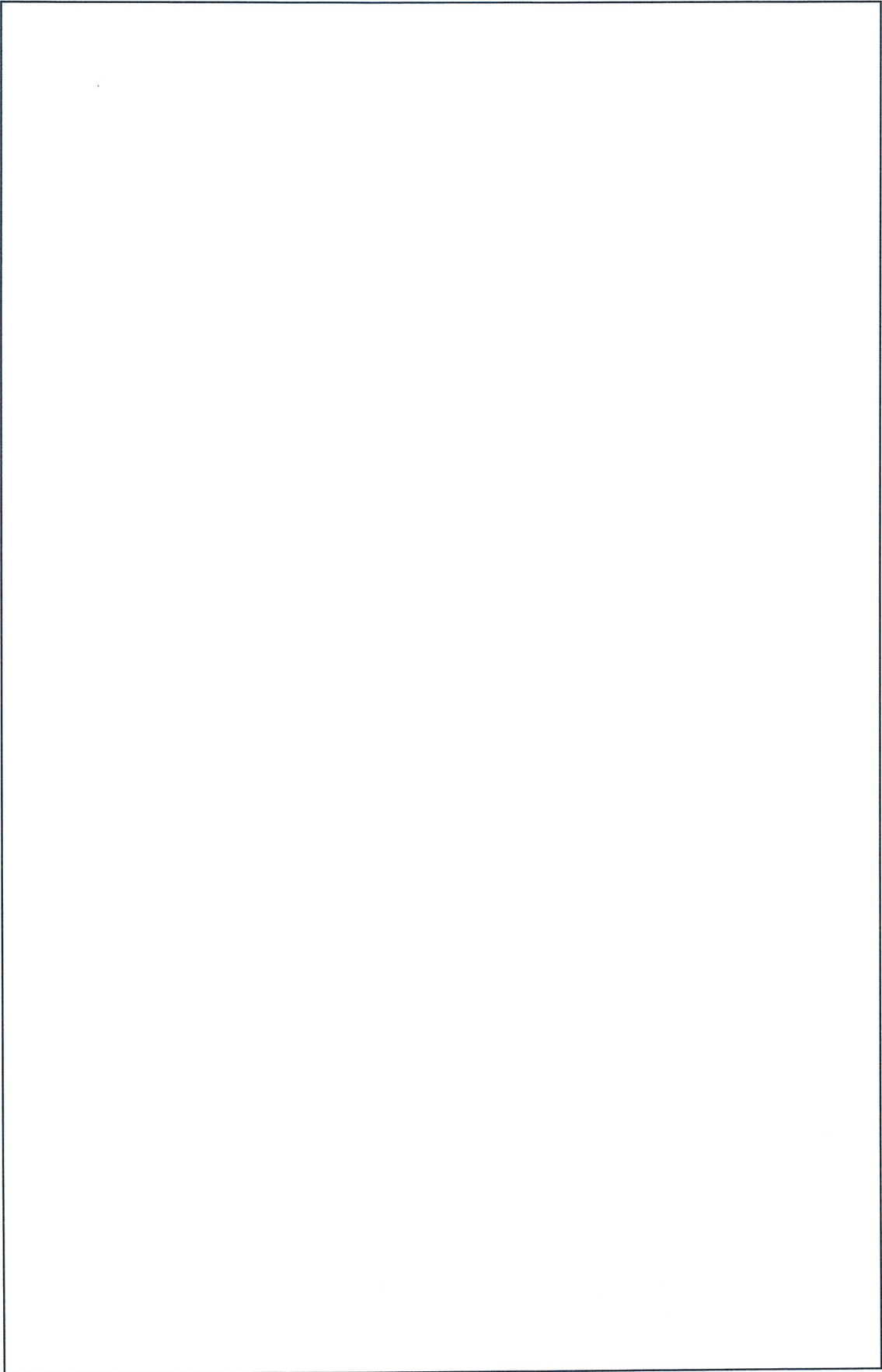
注 意

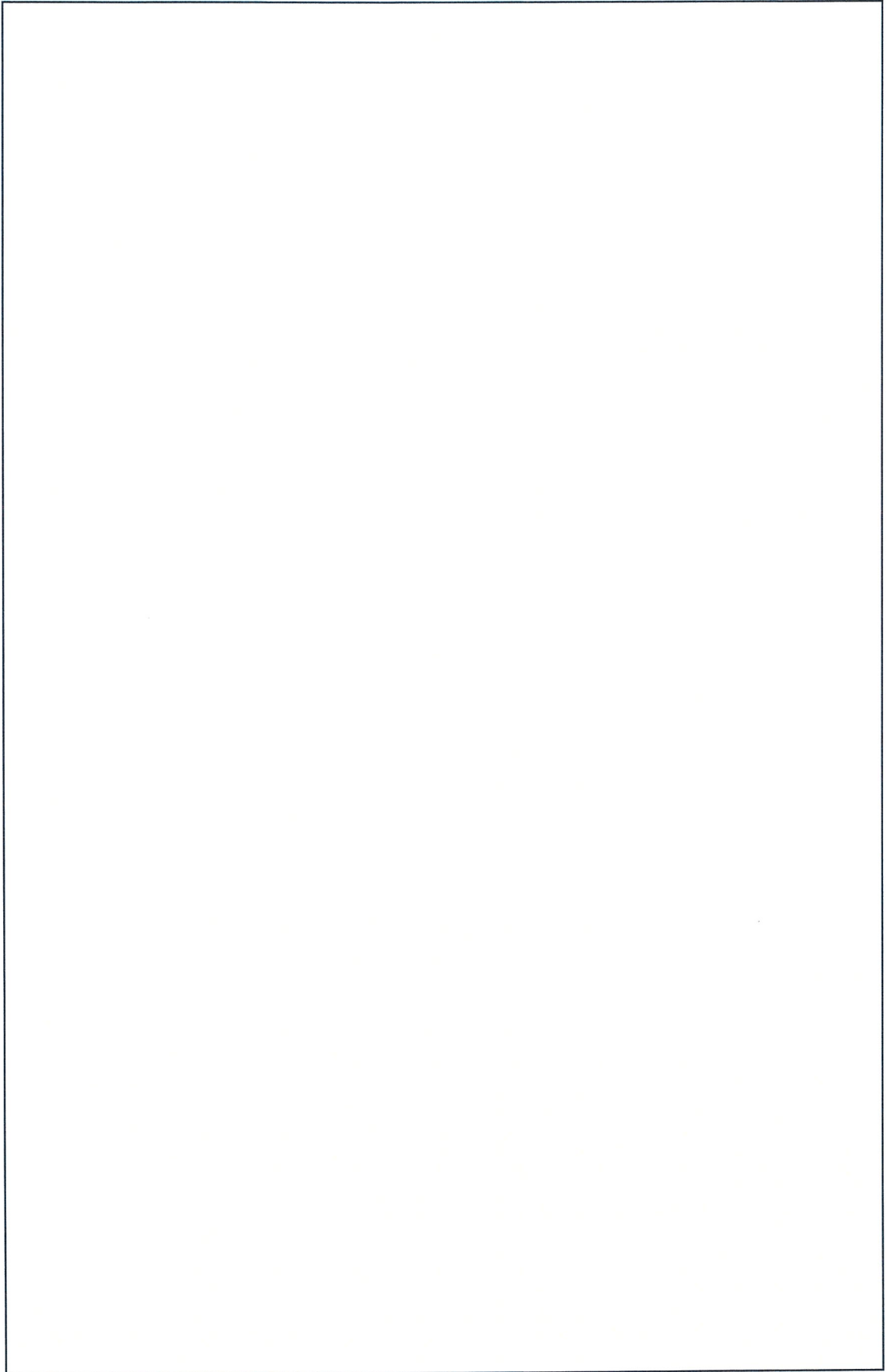
- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は.....5.....枚（表紙を除く）、解答紙は.....5.....枚。
- 3 辞書（1冊）持ち込み可とする。（電子辞書等は不可）

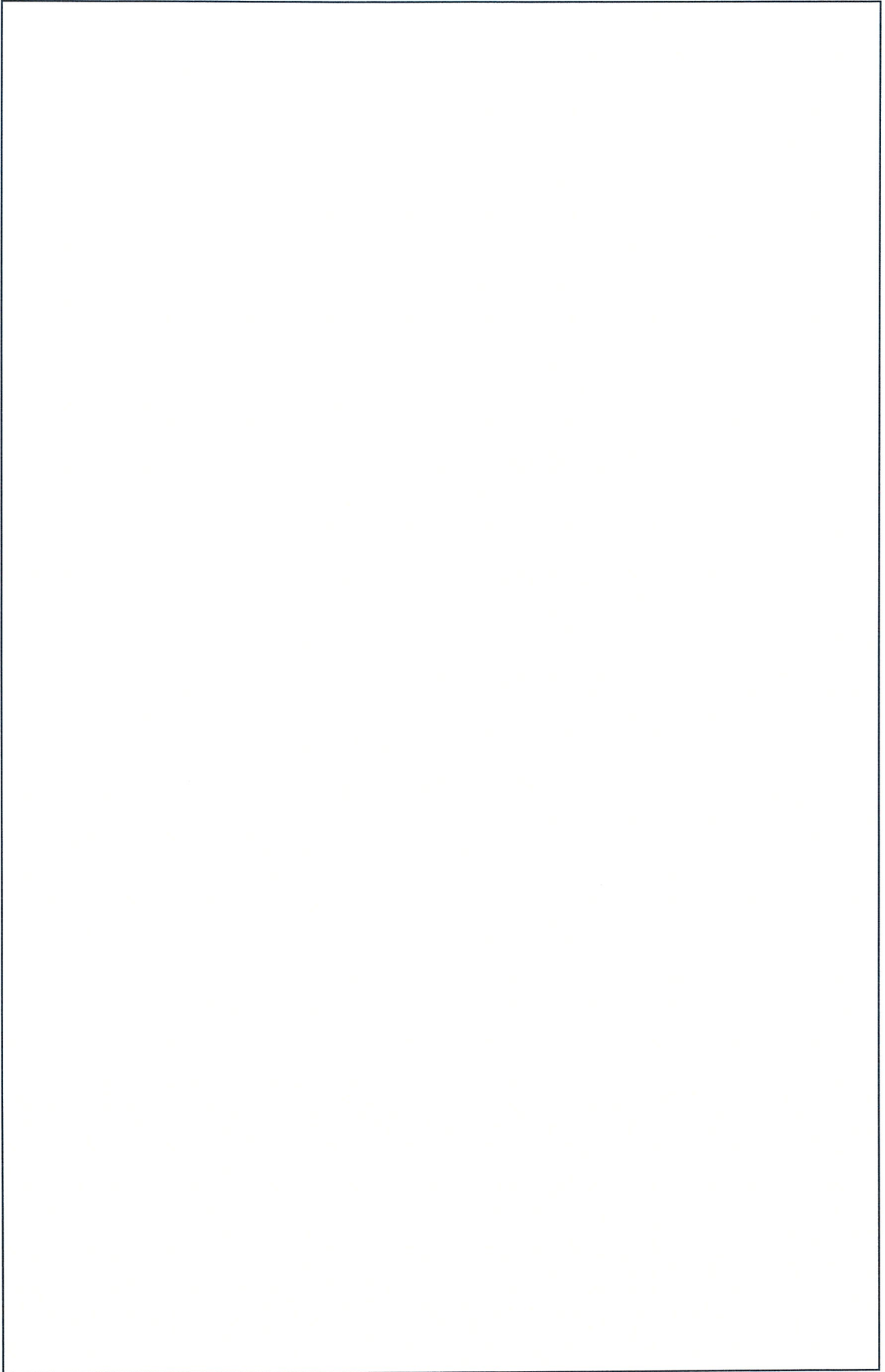
設問：以下の文章は、de Wit, H., & Altbach, P. G. (2021). Internationalization in higher education: global trends and recommendations for its future. *Policy Reviews in Higher Education*, 5(1), 28–46. <https://doi.org/10.1080/23322969.2020.1820898>. からの抜粋である。見出しも含め途中飛ばさずに全て日本語に訳しなさい。なお、人名・機関名・ページ数は原文表記のままよい。また、太字は、区別して表記する必要はない。

ここに当該文献の  
1 ページ本文 1 行から 4 ページの 38 行までの部分が掲載されています。









令和 8 年度（2026 年度）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（後期 3 年の課程・一般選抜）

教育情報アセスメントコース

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 5 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 全ての解答紙に受験記号番号を記入すること。
- 5 辞書（1冊）持ち込み可とする。（電子辞書等は不可）

**設問 I** つぎの英文を読んで、問い 1～3 に答えなさい。なお解答は 1 枚の解答用紙に記入すること。

※LLM (Large Language Model) - 大規模言語モデル, mapping review - マッピングレビュー (系統的文献調査手法の一つ), vignettes - ビネット(研究用の短い事例記述), suicidal ideation - 自殺念慮, delusions - 妄想, standardized patient - 標準模擬患者(医療教育用)

ここに下記文献の抜粋が入ります

“Exploring the Dangers of AI in Mental Health Care”, Stanford Human-Centered AI, (2025), <https://hai.stanford.edu/news/exploring-the-dangers-of-ai-in-mental-health-care>



問1 この文章中での2つの実験で見つかった、AIセラピーチャットボットの危険性を具体的に説明しなさい。

問2 この文章では、セラピストとAIそれぞれの望ましい役割として、どのようなことを示唆していますか？ 200字程度の日本語で具体的に説明しなさい。

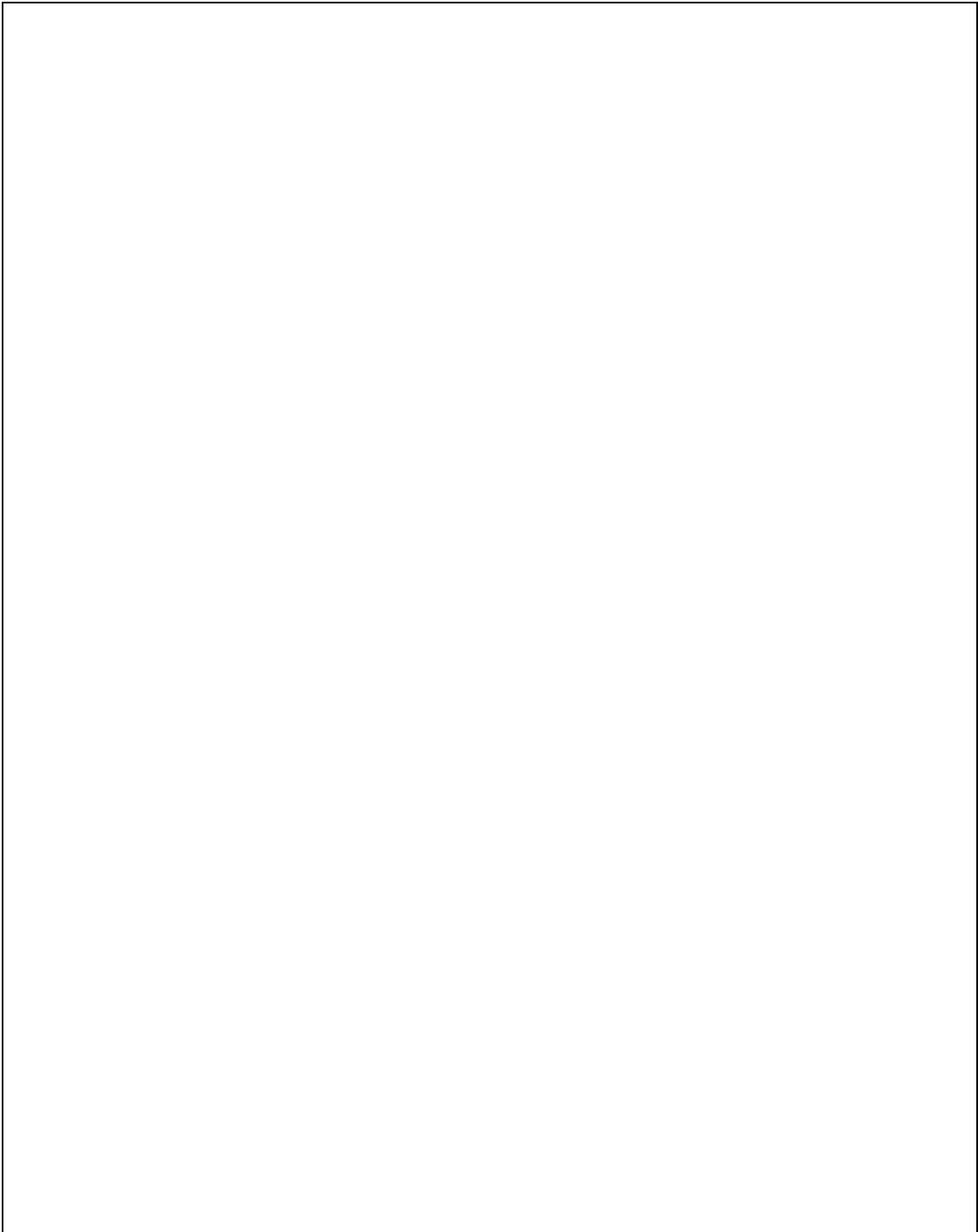
問3 この文章の大意を400字程度の日本語で説明しなさい。

**設問Ⅱ** 次の文章は機械翻訳（Machine Translation; MT）の語学学習への活用研究について調査した調査論文の一部を抜粋したものである。下の文章のうち、Annotations に当たる部分をすべて翻訳しなさい。なお、固有名詞および略記（MT、L2 等）は原文表記のままでもよい。設問Ⅰとは別の解答用紙に記入すること。

※MT: Machine Translation, ESL: English as a Second Language, L2: Second Language, GT: Google Translate

ここに下記文献の抜粋が入ります

Jolley, J., and Maimone, L. (2025). "Machine Translation and Language Teaching and Learning." *Language Teaching* 58 (2): 173-191. Cambridge University Press.



令和 8 年度 (2026 年度)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期 3 年の課程・一般選抜)

教育心理学コース

入学試験問題 外国語科目 (英語)

注 意

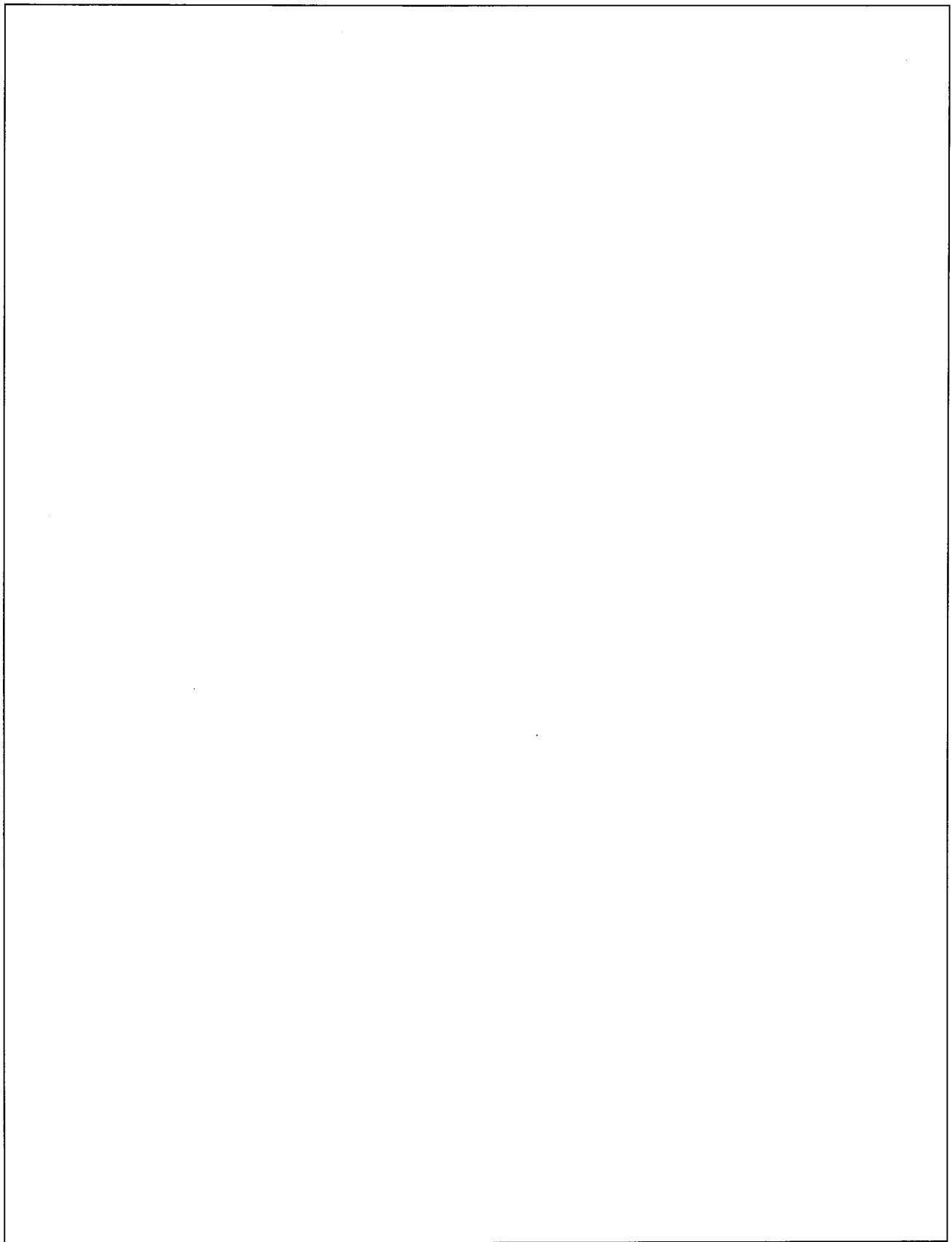
- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 7 枚(表紙を除く), 解答紙は 2 枚。
- 3 解答は, 問題番号を明記の上, それぞれ別の解答紙に記入すること。
- 4 全ての解答紙に受験記号番号を記入すること。
- 5 辞書の持ち込み不可とする。

○発達心理学領域を志望する者は，設問 B-1 および設問 B-2 に解答しなさい。

【設問 B - 1】 次の英文を読み， 問いに答えなさい。

ここに当該文献の

163 ページ本文 1 行目～164 ページ下から 14 行目  
の部分が掲載されています。



[出典 : Chalik, L., & Wynn, K. (2023). Ingroup positivity and outgroup negativity jointly motivate toddlers' social behavior. *The Journal of Genetic Psychology: Research and Theory on Human Development*, 184(3), 163–177. (一部改変) ]

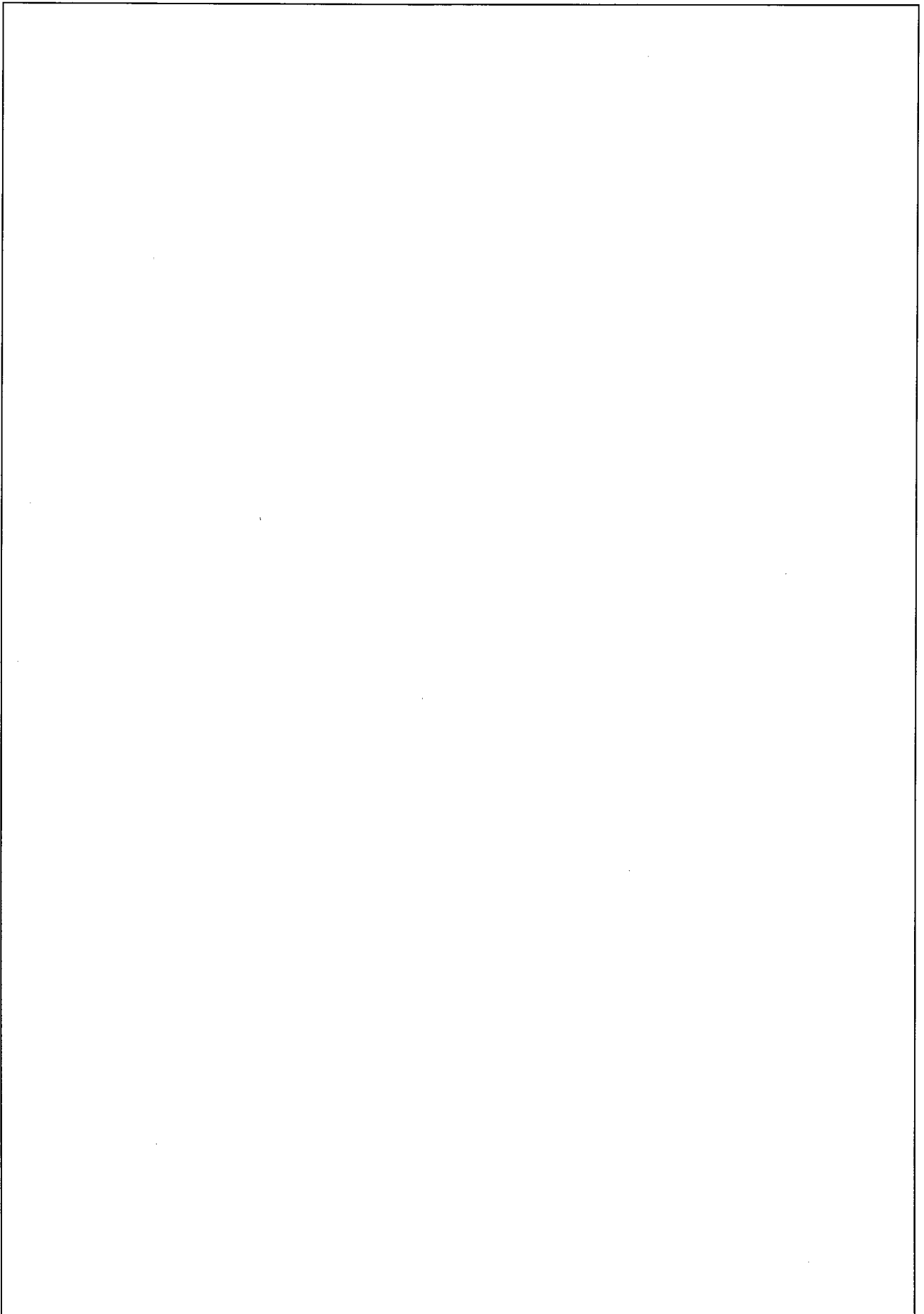
- 問1 下線部(1) **people favor ingroup members over outgroup members** という現象について、本文で紹介されている実証研究を簡潔にまとめなさい。ただし、引用文献は書かなくてもよい。
- 問2 下線部(2)に関して、**intergroup bias** を引き起こす心理的要因について、本文で説明されている要因を簡潔に説明しなさい。ただし、引用文献は書かなくてもよい。
- 問3 下線部(3)を日本語に訳しなさい。
- 問4 下線部(4)を日本語に訳しなさい。

注：問 1～問 4 を通して、心理学論文（和文）において通常カタカナで表記される用語の場合は、カタカナを使用しても構わない。

【設問 B - 2】 次の英文を読み， 問いに答えなさい。

ここに当該文献の

341 ページ左段 本文 1 行目～342 ページ右段 上から 12 行目  
の部分が掲載されています。



[出典 : Hofmann, S. G., Carpenter, J. K., & Curtiss, J. (2016). Interpersonal emotion regulation questionnaire (IERQ): Scale development and psychometric characteristics. *Cognitive Therapy and Research*, 40(3), 341-356. (一部改変) ]

問1 下線部(1)extrinsic and intrinsic processesの“extrinsic”と“intrinsic”について、それぞれ具体的にどのようなプロセスであるかについて説明した上で、emotion regulation に関する近年の研究動向について本文に即して述べなさい。

問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

問3 下線部(3)を日本語に訳しなさい。ただし、引用文献は書かなくてもよい。

問4 下線部(4)を日本語に訳しなさい。ただし、引用文献は書かなくてもよい。

注：問 1～問 4 を通して、心理学論文（和文）において通常カタカナで表記される用語の場合は、カタカナを使用しても構わない。

令和8年度（2026年度）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（後期3年の課程・一般選抜）

臨床心理学コース

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は.....1.1.....枚(表紙を除く)、解答紙は.....4.....枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の持ち込み不可とする。

**【設問 I】**

以下の文章を読んで、問 1～問 4 に日本語で答えなさい。

問 1 Prolonged Grief Disorder と depression、suicidal ideation の三者関係に関して、過去の研究から得られている知見について、本文に即して述べよ。(10 点)

問 2 著者らが主張する過去の研究の問題点について、本文に即して述べよ。(10 点)

問 3 Prolonged Grief Disorder と depression、suicidal ideation の三者関係に関して、この論文から得られた結果について、本文に即して述べよ。(20 点)

問 4 この研究から得られた示唆について、本文に即して述べよ。(10 点)

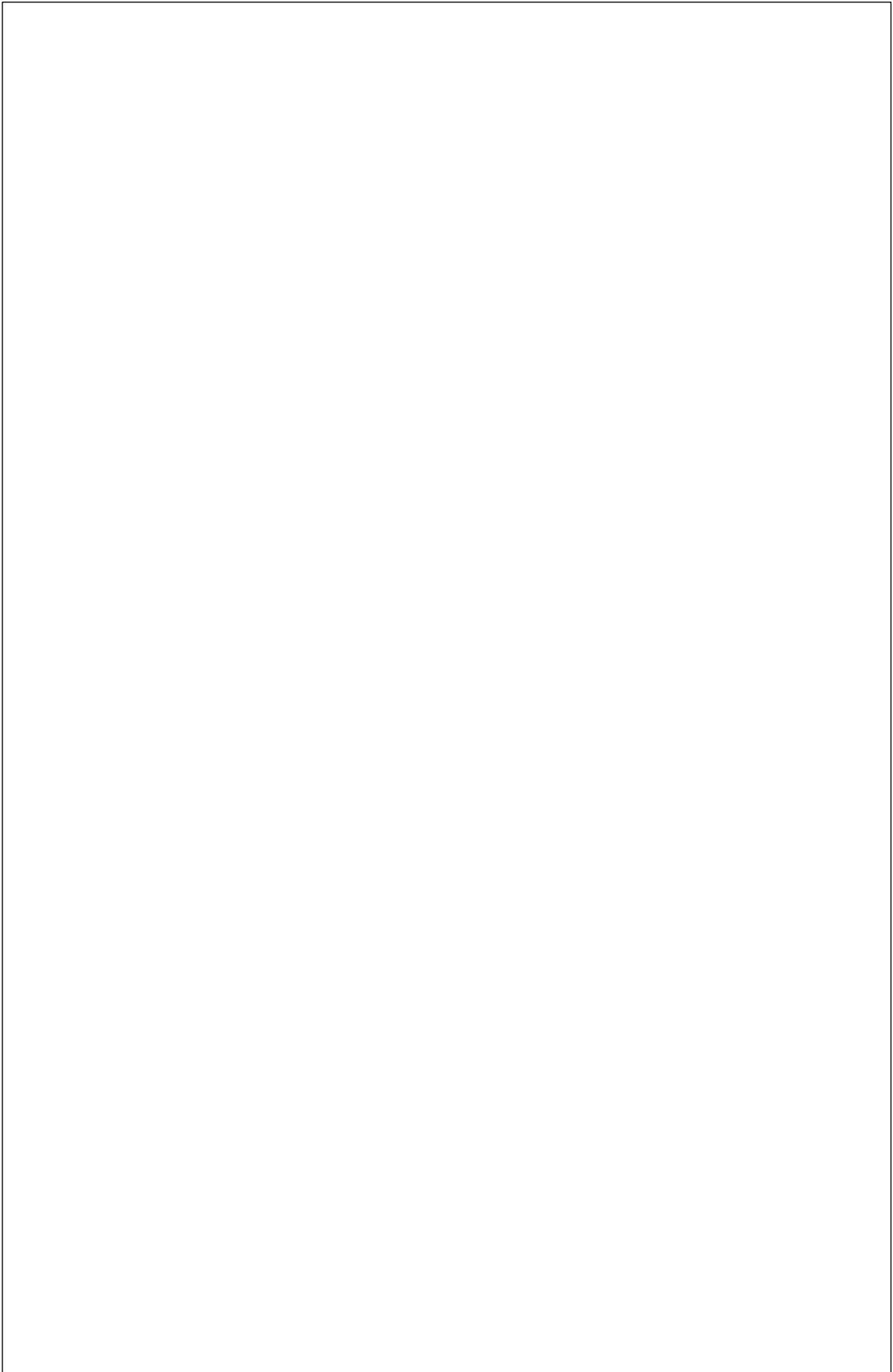
出典：Sekowski, M., & Prigerson, H.G. (2022). Associations between symptoms of prolonged grief disorder and depression and suicidal ideation. *British Journal of Clinical Psychology*, 61(4), 1211-1218.

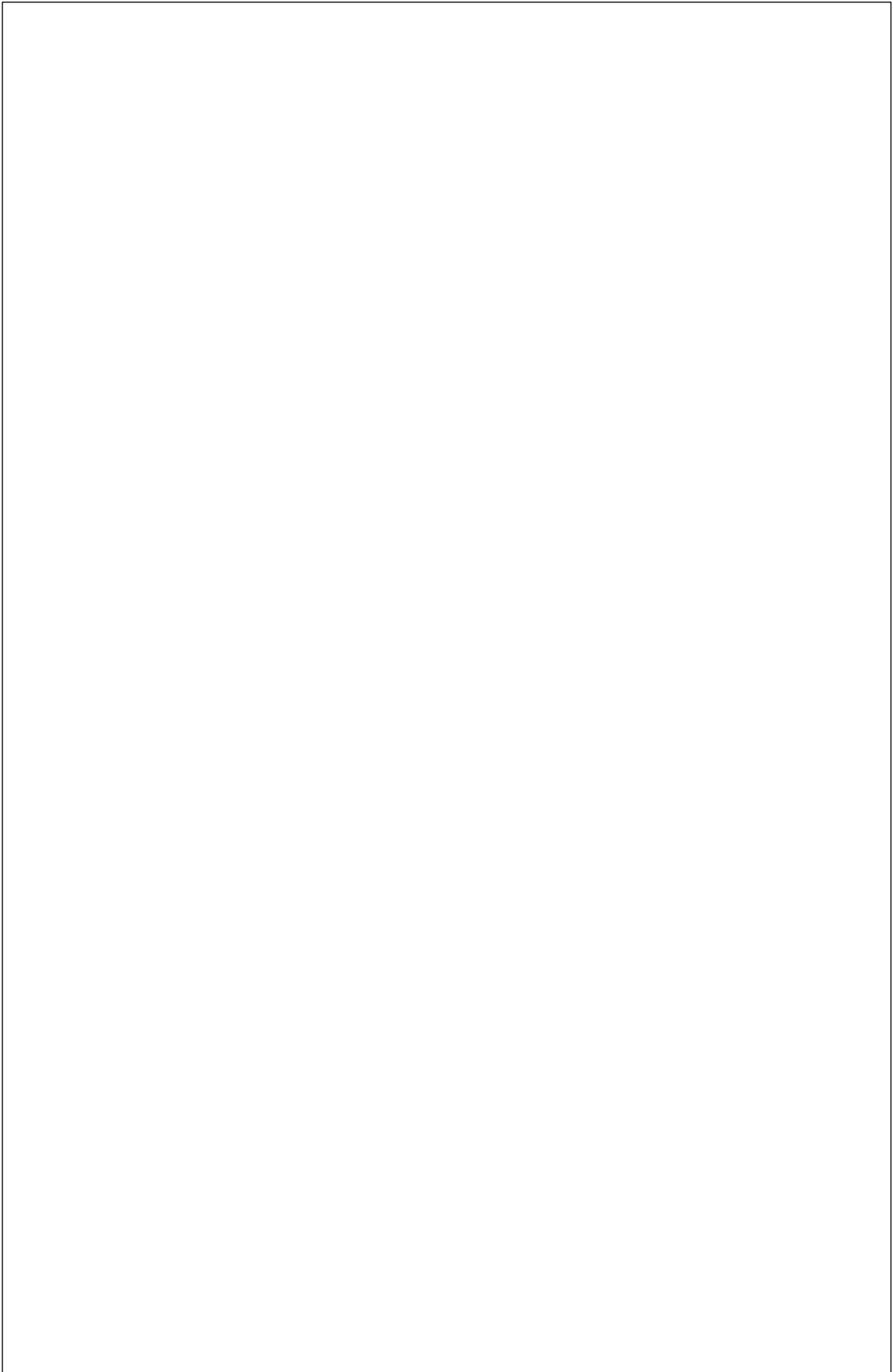
<https://doi.org/10.1111/bjc.12381> から一部抜粋

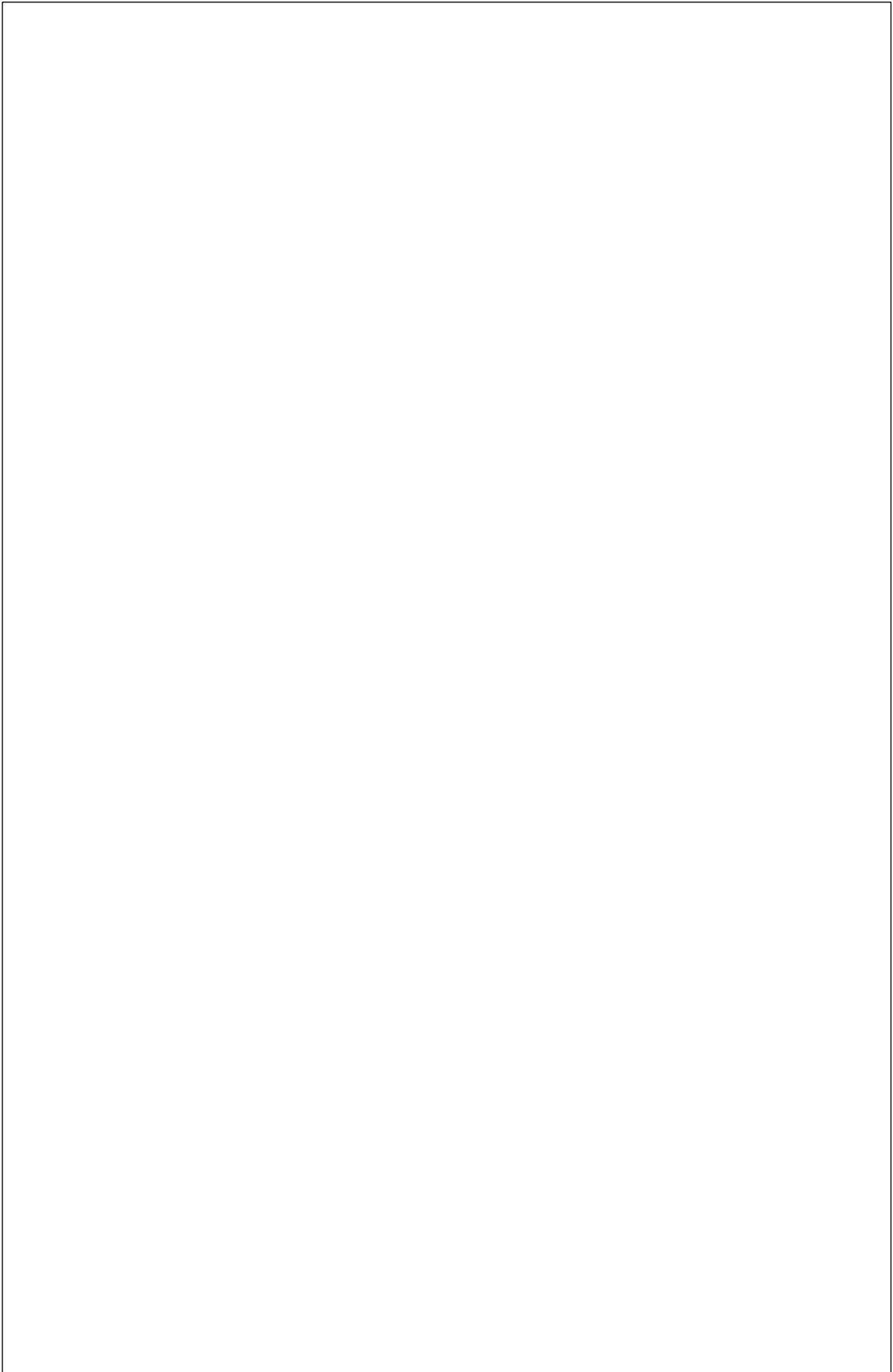
ここに以下の文献の 1211 頁から 1216 頁が入ります。

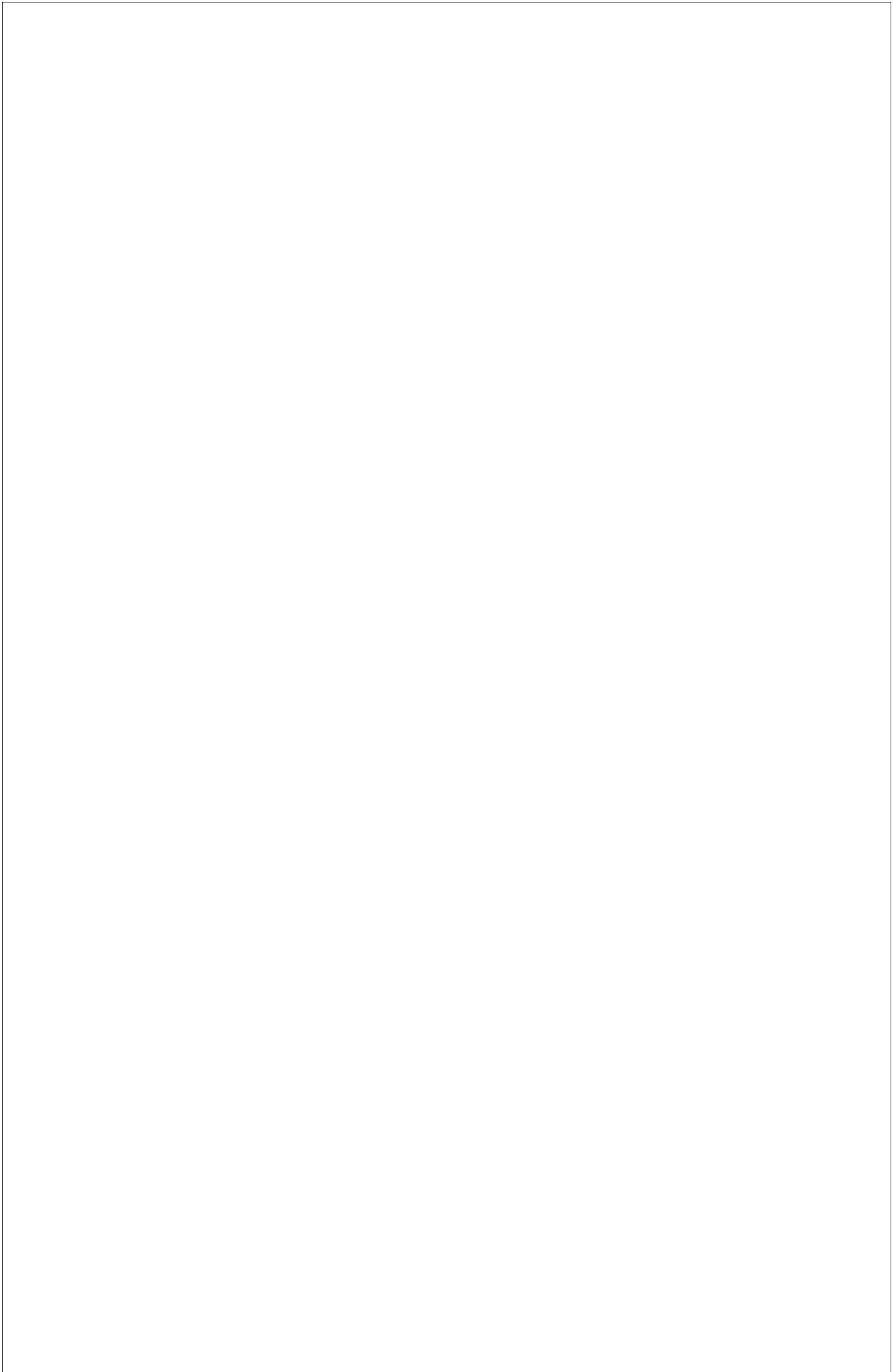
Sekowski, M., & Prigerson, H.G. (2022). Associations between symptoms of prolonged grief disorder and depression and suicidal ideation. *British Journal of Clinical Psychology*, 61(4), 1211-1218.

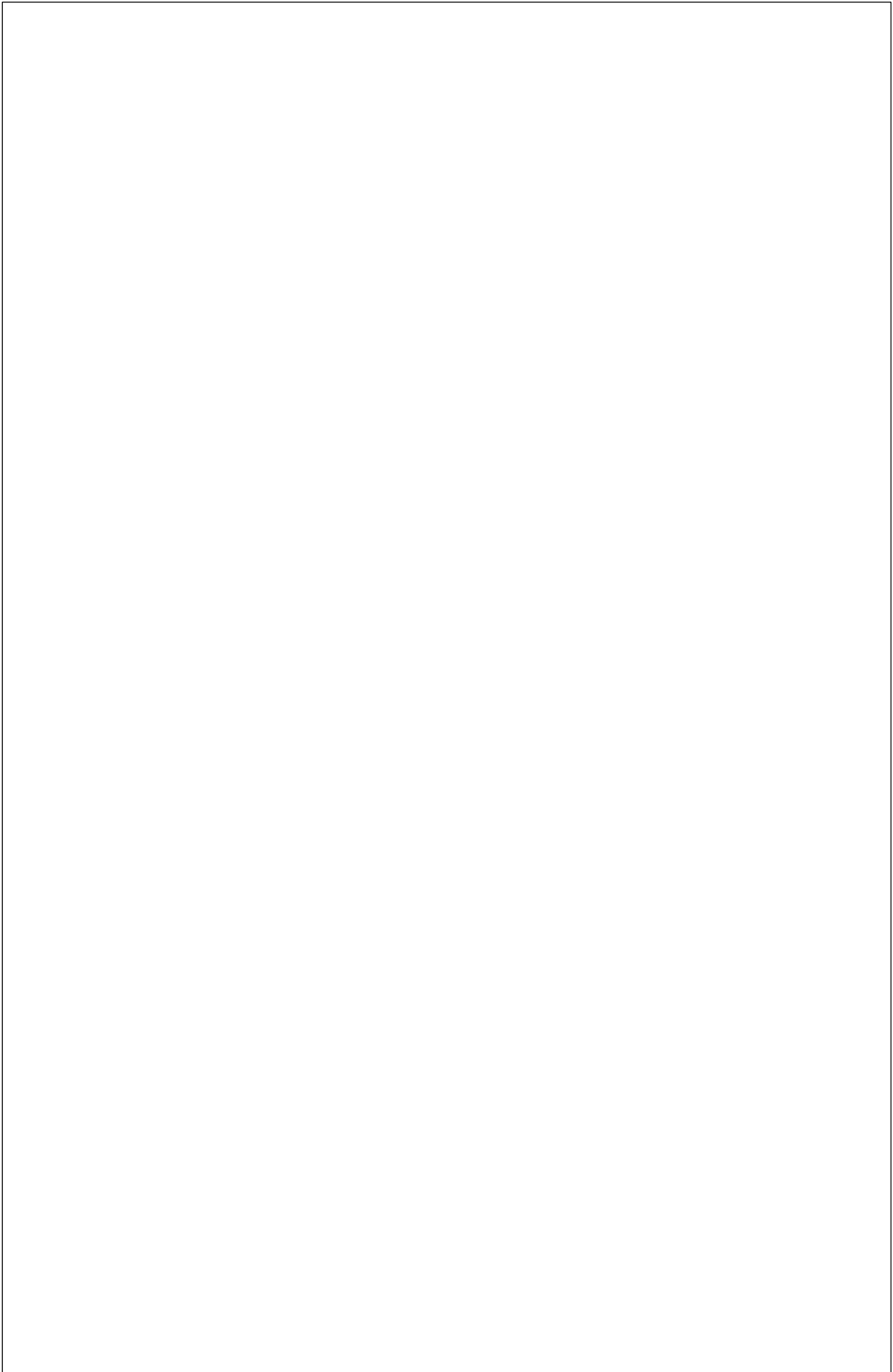
<https://doi.org/10.1111/bjc.12381>











【設問Ⅱ】

以下の文章を読んで、問1～問4に日本語で答えなさい。

- 問1 下線部“Deciding on the number of psychotherapy sessions to satisfactorily treat a patient is a vital clinical as well as economic issue in most mental health systems worldwide.”を日本語訳せよ。(10点)
- 問2 下線部“whether the treatments under naturalistic conditions were fixed to a particular number of sessions or not”で示されている研究疑問を日本語で説明したうえで、本文に基づくとどのような回答が導けるか、根拠となるデータを明示しつつ説明せよ。(10点)
- 問3 下線部“whether naturalistic conditions tended to include unusually long treatments (e.g., > 100 sessions)”で示されている研究疑問を日本語で説明したうえで、本文に基づくとどのような回答が導けるか、根拠となるデータを明示しつつ説明せよ。(10点)
- 問4 下線部“There is little convergence across countries (and their policies) regarding how treatment duration should be decided.”が意味する内容について、本文で言及されている具体例を挙げながら説明せよ。(20点)

出典 : Flückiger, C., Wampold, B. E., Delgadillo, J., Rubel, J., Vıslá, A., & Lutz, W. (2020). Is there an evidence-based number of sessions in outpatient psychotherapy? - A comparison of naturalistic conditions across countries. *Psychotherapy and Psychosomatics*, 89(5), 333–335.

<https://doi.org/10.1159/000507793> をもとに作成

ここに以下の文献の 333 頁から 335 頁が入ります。

Flückiger, C., Wampold, B. E., Delgadillo, J., Rubel, J., Vislá, A., & Lutz, W. (2020). Is there an evidence-based number of sessions in outpatient psychotherapy? - A comparison of naturalistic conditions across countries. *Psychotherapy and Psychosomatics*, 89(5), 333–335. <https://doi.org/10.1159/000507793>

